

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	神奈川県
-------	------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	伊勢原市立 伊勢原小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	3	4	3	4	4	4	26	39
児童数	142	119	151	115	132	122	12	793	

研究の概要

1. 研究主題

<p>子どもに根ざす算数指導</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

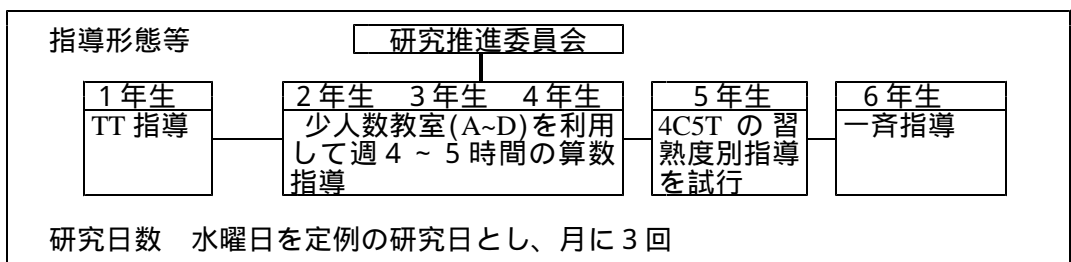
<p>本事業へ参加するにあたっては、どの教科において学力の低下がみられるかという点について、全学年一斉のテストなどを実施したわけではないが、学期ごとの評価の時に、あるいは、日常の指導のなかで子どもたちの学習に関して教師が問題意識を置いている教科は何か、また、研究委託期間に研修の成果があげられる分野は何かなどについて検討をして、本校では算数科を研究の分野に据えることにした。</p> <p>実施学年 1～6年 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをつまずき、誤答とその分析・解釈、そして教師の手だてのあり方 ・少人数指導(算数のみ)を実施するにあたっての教師の構えのあり方 ・子どもたちが学習を通して抱く算数観をもとにした授業改善
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>研究の主眼 つまずきの把握と子どもたちの算数観</p> <p>研究の見通し この単元で、この指導で子どもたちはどんなつまずきをするのか、また、こうした誤答から教師はどんな手だてをとるべきかを考察することで教師の指導力の向上を図る。 これまでの算数指導のなかで子どもたちはどんな算数観を抱いてきたのか。それを知ることで授業改善の一助とする。</p> <p>研究の内容・方法 各学年で、子どもたちのつまずきが多くみられると予想される単元について、指導計画を見直すとともに子どもたちの誤答を分類し、それに対する手だてを検討する。 少人数指導、あるいは、習熟度別指導については、他校の先行実践を参考にしながら、留意点や教師の構えを明らかにするとともに、従来の一斉指導の利点と問題点についても整理していく。 子どもたちの算数に対するイメージを知るための質問紙を作成し、その結果から授業改善の方途を検討する。</p>
--------	---

平成16年度	<p>研究の主眼 カリキュラムの見直しと指導過程の研究</p> <p>研究の見通し 理解をより深めることができる単元あるいは領域の指導計画の作成 少人数指導での教師と子どもとのコミュニケーションのあり方 従来の一斉指導の良さと習熟度別指導の良さを単元の指導計画の中にどのように位置づけると効果的かということの共通理解</p> <p>研究の内容・方法 「数と計算」の分野について、四則計算のそれぞれの意味、小数、分数の特長などを教科書を土台にしながら、補充・発展的な理解ができるように組み替える。 少人数指導での教師と子どもとのコミュニケーションのあり方を授業研究を通じて共通理解を図る。 習熟度別指導を計画する上での教師の構えや留意点を整理し、実際の授業に生かされているかを授業研究で明らかにする。</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

質問紙からみえる子どもの算数観

質問内容	児童相互に多様な考えを出したり聞いたりすることを楽しむ										児童相互の関わりやコミュニケーションを楽しむ									
	算数の授業では、正しい答えが出せなくても、いろいろな人の考えを聞くことも楽しいと思います。										算数の授業中は友だちにやり方を聞いたり、逆に、教えてあげたりする時間がかなり楽しいと思います。									
	NO1										NO2									
NO																				
学年	同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う		同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う	
4総計	40	36%	44	39%	17	15%	9	8%	2	2%	28	25%	37	33%	33	29%	9	8%	6	5%
5総計	19	15%	37	29%	42	33%	12	9%	19	15%	27	21%	35	27%	38	29%	13	10%	16	12%
6総計	12	10%	37	31%	47	39%	20	17%	5	4%	15	12%	33	27%	54	45%	13	11%	6	5%

質問内容	あれこれと失敗しながら問題に取り組む事への充実感										算数の授業での達成感を味わう									
	算数の授業中、難しい問題に出会った時は、何度もやりなおすことが楽しいと思います。										算数の授業で「やったー、できた」と思うことが近ごろでは多くなってきょうな気がします。									
	NO3										NO4									
NO																				
学年	同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う		同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う	
4総計	22	20%	16	14%	48	43%	12	11%	14	13%	43	38%	44	39%	16	14%	6	5%	2	2%
5総計	13	10%	15	12%	31	24%	30	23%	40	31%	32	25%	42	33%	31	24%	5	4%	19	15%
6総計	10	8%	17	14%	40	33%	34	28%	20	17%	23	19%	29	24%	39	32%	17	14%	13	11%

質問内容	自力であれこれと粘り強く取り組むことを楽しむ										算数の授業への参画度・発言へのこだわり									
	算数では、先生に答えややり方をすぐに教えてもらうよりも、自分で何度もやりなおしながらできるようになった方がおもしろいと思います。										算数の授業中、手をあげて発言してみたいのですが、答えがまちがっていたらと思うと不安で、つい、手があげられないことが多いと思います。									
NO	NO5										NO6									
学年	同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う		同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う	
4総計	41	37%	36	32%	22	20%	9	8%	3	3%	25	22%	24	21%	20	18%	16	14%	27	24%
5総計	27	21%	31	24%	39	30%	15	12%	17	13%	33	26%	31	24%	22	17%	13	10%	30	23%
6総計	29	24%	25	21%	43	36%	19	16%	5	4%	33	27%	18	15%	31	26%	17	14%	22	18%

質問内容	出題される問題の難易度への満足感										算数の時間への期待・充足感									
	算数の授業では、すでに知っていることが多く、「もっとむずかしい問題をやってみたいなあ」と思うことがあります。										「早く算数の授業が終わらないかなあ」と思うことがよくあります。									
NO	NO7										NO8									
学年	同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う		同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う	
4総計	25	22%	20	18%	38	34%	12	11%	17	15%	9	8%	5	4%	19	17%	25	22%	54	48%
5総計	17	13%	19	15%	34	26%	19	15%	40	31%	48	37%	18	14%	22	17%	26	20%	15	12%
6総計	22	18%	17	14%	35	29%	21	17%	26	21%	33	27%	20	17%	44	36%	17	14%	7	6%

質問内容	計算への興味										家庭学習への取組み									
	算数では計算に時間がかかって「めんどうだな」と思うことがよくあります。										家でも算数のふくしゅうをやると思いますが、どうしても漢字などほかの勉強の方が多くなってしまいます。									
NO	NO9										NO10									
学年	同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う		同感		かなり		どちらでも		少し違う		全く違う	
4総計	6	5%	11	10%	20	18%	27	24%	48	43%	12	11%	19	17%	49	44%	15	13%	17	15%
5総計	27	21%	22	17%	26	20%	18	14%	36	28%	22	17%	20	16%	46	36%	9	7%	32	25%
6総計	18	15%	29	24%	37	31%	17	14%	17	14%	24	20%	24	20%	49	40%	9	7%	15	12%

質問紙調査の結果を授業改善の視点で考えると、少人数学級やコース別学習を採り入れている4年、5年では「多様な考えを出したり聞いたり」することや「相互に教えたり教えてもらったりする」ことを楽しんでいるように思われる。また、「計算を面倒だ」という問いには4年生までは「そう思わない」という回答の割合が高い。

教師の観察による実践の成果

- ・少人数学習については、4月から週4～5時間の算数で実施してきたため、子どもたちは単元ごとにグループ編成が変わることに慣れ、担任以外の教師とも言語コミュニケーションが活発になってきた。
- ・活動を取り入れた学習では、一斉指導の時よりもさまざまな考えが子どもから出されることが多くなった。
- ・少人数教室では授業中、子どもの誤答やつまずきを教師が把握しやすくなった。

2. 今後の課題

少人数学習、習熟度別学習の授業研究を行う場合、参加観察する教師が複数の教室を見て回ることであり、授業の「導入・展開・まとめ」という一連の活動を見ることができず、事後の研究で視点がぼやけてしまった。次年度については一学級をじっくり参加観察できるような方法を検討したい。

習熟度別学習は学期末の「まとめの学習」の段階で、子どもたちの自己概念が否定されないように配慮しながら実施して、短時間にもかかわらず子どもたちがコースを自己選択できるようになったり、それぞれのクラスで活気のある授業が展開されたりと、一応の成果をみた。しかし、全人格の発達を考えるとこれまでの一斉指導にもまだまだ利点も多く、次年度はその両者のバランスをどのように図るかということについて研修を設定していく必要がある。

六学年を見通して、例えば、この学年にこうしたつまずきや誤答が目立ってくるので、前の学年では、レディネスとなる学習をどのように導入しておくかというような研究も重視しなければならない。次年度は「数と計算」について重点的に授業・教材研究ができる推進体制を考えたい。

学力等把握のための学校としての取組

授業の成果を単純に二分した場合、「知識・技能」と興味関心の原動力となる「その教科に対する子どものイメージ」(授業観)があると考えた。子どもが抱く授業観は教師の授業方法や構えの上に形成されていくものだとすると、彼らの授業観を知ることは授業改善の参考になる。そこで、本年度は、授業改善の資料となるような質問紙を作成して4年生以上を対象にして実施した。

教育課程実施状況調査 5年生の4クラス(2月に実施予定)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・学校通信(保護者対象)や学年通信で研究目的や概要を説明し、学習形態などについて日頃から保護者のコンセンサスを得ようと考えた。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | | | |
|----------------------|--|--|--|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 6学級以下 | <input type="checkbox"/> 7～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～18学級 | <input type="checkbox"/> 19～24学級 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> 一部教科担任制 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【研究教科】 | <input type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| | <input type="checkbox"/> 生活 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 図画工作 | <input type="checkbox"/> 家庭 |
| | <input type="checkbox"/> 体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | |